■ 委員会活動状況 ■

コンクリート委員会

Concrete Committee

コンクリート委員会の活動状況については、本論文集 No. 348（昭和 59 年 8 月）に、その歴史、現状および今後の方向等の報告がなされている¹⁾。昭和 61 年 10 月に、コンクリート委員会の大きな柱であるコンクリート標準示方書（RC 示方書と略称する）の大幅な改訂が行われた後、樋口芳朗 東京理科大学教授が委員長を勇退され、昭和 62 年 1 月からは、岡田 清 京都大学名誉教授、福山大学教授が本委員会委員長を務められている。

新委員会の発足にあたり、コンクリート委員会と常任委員会の委員数がかかなり削減され、新たに顧問制と幹事会が発足した。また、これまで懸案であったコンクリート委員会内規の作成が始まり、昭和 62 年 9 月のコンクリート委員会において、内規が制定され、この内規は昭和 62 年 1 月 1 日に遡って適用されることが決められた。

1. 委員会の構成と運営

コンクリート委員会は、現在、7 名の顧問を含め、総数 76 名の委員長および委員からなっており、コンクリート工学の発展に寄与することを目的に、研究・調査を行っている。この委員会の中から 30 名の常任委員を選出し、委員長とともに常任委員会を設けている。コンクリート委員会は原則として年 2 回、常任委員会は必要に応じて隔月に 1 回程度、それぞれコンクリート委員会の委員長が招集して開催されている。

常任委員会は、コンクリート委員会の事業の計画、立案等を行い、本委員会の円滑な運営を図っている。また、後述の小委員会の委員長は、この常任委員会の委員でもあるため、常任委員会では、小委員会間の情報交換や調整も行われている。

また、常任委員の中から 5 名の幹事を選出して、幹事会が設けられ、必要に応じて随時開催されている。幹事会長は小柳 治 岐阜大学教授が務められている。幹事会は、委員長を補佐するとともに、コンクリート委員会および常任委員会に関係した事務を処理している。

本委員会に所属する小委員会は、現在、表—1 に示すように合計 10 ある。小委員会は、特定の事項について研究、調査等を行う必要があるときに設けられており、任務の終了した小委員会は解散し、また、新たに小委員

表—1 コンクリート委員会に所属する小委員会
(昭和 63 年 6 月現在)

コンクリート委員会（委員長：岡田 清）	
・	常任委員会（委員長：岡田 清）
・	規程関連小委員会（委員長：小林一輔）
・	英文ライブラリー刊行編集小委員会（委員長：田辺忠顕）
・	RC 示方書英文化小委員会（委員長：岡村 甫）
・	PC 工法設計施工指針改訂小委員会（委員長：池田尚治）
・	コンクリート教育研究小委員会（委員長：河野 清）
・	設計一般小委員会（委員長：藤井 学）
・	施工一般小委員会（委員長：長龍重義）
・	耐久性設計小委員会（委員長：岡村 甫）
・	維持管理小委員会（委員長：小柳 治）

会が発足するため、一定数の小委員会が常置されているわけではない。これらの小委員会で得られた成果は、指針、講演会、講習会などの形で会員に公表され、多くはコンクリート・ライブラリー等の出版物として、すでに発刊され、また今後発刊されることになる。コンクリート・ライブラリーは現在、第 64 号まで、また同インターナショナル（英文）は No. 11 まで発刊されている。

2. RC 示方書関連小委員会と RC 示方書の改訂の方針

RC 示方書の改訂は、従来、改訂の機が近づくと改訂小委員会を設置して、その作業にあたってきた。しかし、このような改訂作業の方法を採ると、今日、急速に発展しているコンクリート工学の成果を RC 示方書に十分に反映させることがきわめて困難になりつつある。このため、RC 示方書の内容をさらに適切なものにすることを目的として、RC 示方書の内容を継続的に調査研究するための RC 示方書関連小委員会が設置され、活動が行われている。具体的な小委員会名は、表—1 の設計一般小委員会以下の 4 小委員会である。

現在の RC 示方書関連小委員会は、現行 RC 示方書の問題点の整理および改訂の方向付けに関する研究成果を、昭和 63 年 12 月末までに常任委員会に提出し、その後は原則として解散することになっている。これらの成果を受けて、昭和 64 年 1 月より、RC 示方書改訂小委員会を発足させて具体的な改訂作業に入り、昭和 65 年 12 月末までにその改訂案を作成する予定にしている。

なお、土木学会規準等の制定、見直し、廃止については、従来どおり、規程関連小委員会が担当している。

参 考 文 献

1) 魚本健人：コンクリート委員会，土木学会論文集，No. 348/V-1，pp. 49～50，1984. 8.

(文責：辻 幸和/Yukikazu TSUJI/論文集編集委員会編集調整会議幹事/1988. 7. 6・受付)